

令和6年6月18日(火)

推薦入試は、各生徒からの申請を受けて、推薦委員会（基本的に毎週火曜日開催）で推薦するか否かを決定し、その決定を受けて志望大学へ願書を送付します。

I. 推薦入試を希望する生徒は以下のことを事前に行う。

(1) 願書の取り寄せ

推薦願書は、各自で責任を持って取り寄せ、熟読する。

ただし、指定校については進路ガイダンス部が配布する。

専願？ 併願？

合格したら入学辞退できないのは？

(2) 進路G部への申請（3点セット申し込み+Forms入力）

目安は担任提出日（推薦種別：大学によって異なる）の3週間～1ヶ月前

3点セットとは？ 推薦受験願い・志望動機・担任副申書 のこと。

① 推薦受験願い （各自で記入し、HR担任へ提出）

② 志望の動機 （各自で記入し、HR担任へ提出）

③ 担任副申書 （HR担任へ依頼）※依頼は担任提出締めめの3週間～1ヶ月前が目安

※出願要件のページ（入試選抜要項等にある）はコピーして、進路Gと担任へ提出

II. 推薦委員会の審議後、進路G部より結果報告を受ける。

推薦委員会で、本校および希望する大学の推薦基準を満たしているか等を審議します。なお、国公立の推薦入試の多くの場合や指定校推薦の場合、「1校から〇名まで応募可」という制限があります。競合があった場合は、推薦委員会で本校から推薦する生徒を選出します。私大の多くの一般推薦では、そのような制限はありません。

III. 推薦の内定を受けたら出願準備を行う

進路ガイダンス部で「④諸証明書等申込書」を受け取り、必要事項を記入し、ホームルーム担任へ提出して、推薦書・調査書等の作成を依頼する。必要書類（願書・推薦書・調査書等）を取りそろえ、必ず指定された方法（速達書留・書留）で各自で郵送する。

※学校一括郵送（琉大など）の場合は、進路ガイダンス部がとりまとめる。

※自己推薦書や志望理由書は、面接に備えてコピーをとっておくこと。

IV. 推薦入試受験後

◎進路ガイダンス部から「受験報告書」の様式を受け取り、詳細に記入し、提出する。

◎入試問題のコピーも提出する。

V. 合格したら

◎「合格体験記」をパソコンで作成し、CAI教室のフォルダ「合格体験記」に提出する。

*総合型選抜希望の生徒へ

（エントリーシートの受付がある大学など各大学で出願時期が異なる。早めの準備を！）

※学校側より「推薦書」または「評価書」が必要な場合、上記の推薦入試と同じ手続きが必要になる。

※学校側より「推薦書」または「評価書」が必要ない場合、以下3点を進路G部へ提出する。

「④諸証明書等申込書」、「⑤総合型選抜出願届」、「出願要件(募集要項のコピー)」

学校推薦型選抜で受験を希望する生徒の動き

〇〇〇大学を学校推薦型選抜（又は学校長の推薦書を必要とする総合型選抜）で受けようと思った



進路G部で、①「推薦受験願い・担任副申書・志望動機（三点セット）申込用紙」をもらう。

Formsに出願先を入力



申込用紙に記入し、進路へ提出して「推薦受験願い・担任副申書・志望動機（三点セット）」をもらう。

- ① 推薦受験願い・・・自分で書く箇所と保護者に書いてもらう箇所がある。
- ② 志望動機・・・推薦で受験するには明確な理由が無いといけません。将来の仕事に繋げる為に〇〇大学へ推薦で受験したいということを自分の言葉でしっかりと文章にしましょう。
- ③ 担任副申書・・・担任の先生へ「〇〇大学の推薦入試を受けたいと考えています。副申書の作成宜しくお願いします」とお願いをする。提出締め日の3週間前が目安

☆ 推薦受験書と志望動機を書いたら担任へ提出。 ☆ 出願要件(入試要項のコピー)を進路へ提出。



推薦委員会です承されたという報告を受けた生徒は『受験願書の作成に入る』

- 1) 担任にお願いする書類・・・「④諸証明書等申込書」に記入し進路へ申し込み後、半券を持って担任へ書類作成のお願いをする。
- 2) 個人で揃えるもの・・・各学校によって少しずつ異なる。募集要項をしっかりと見て記入する。



願書提出・・・『書留』で送る

☆志望理由書（願書に含まれている）のコピーを担任へ提出してください。

（自分用のコピーも取っておくこと）



面接指導をお願いする。受験の為に旅行許可願いを学年室からもらい提出する。

（受験番号を担任へ報告）



受験後・・・・・・・・・・受験報告書を書いて進路へ提出する。



合否結果がでたら、お世話になった先生へ報告。

- 1) 合格した・・・合格体験記を書いて進路へ提出
- 2) 残念だった・・・一般入試に向けて学習に励む。

進路に関する規程

1. 生徒の推薦に関する規程

(趣 旨)

第1条 この規程は進学・就職の推薦に関し必要な事項を定めるものとする。

(推薦委員会)

第2条 推薦の可否を審議するために推薦委員会（以下「委員会」と称する）を設置する。

(1) 委員会の構成は次のとおりとする。

教頭（委員長）、進路ガイダンス主任（副委員長）、進学係、3学年主任、当該ホームルーム担任、関係職員（ただし、当該ホームルーム担任、関係職員は採決には加わらない）

(2) 委員長は、必要に応じて委員会を招集する。

(推薦基準)

第3条 4年制大学及び短期大学への推薦は、次の基準を満たす場合に行う。

(1) 当該大学の推薦条件を満たしていること。推薦による出願は1校1学科のみとする。

但し、当該大学が同一大学（附属短期大学を含む）中での併願を認めている場合に限り、併願を認める。

(2) 3カ年の評定平均値が原則として3.0以上で、かつ評定に1の科目がないこと。

3学年における履修科目が1学期の終了時点で34点以下、仮評定2となる者は推薦に該当しない。

(3) 3カ年通算して、無届欠席（6回以内）・無届欠課（9回以内）・遅刻（15回以内）であること。

但し、無届欠課は、教科・行事・LHR・総探における無届欠課の合計とし、遅刻は、SHR・教科・行事・LHR・総探における遅刻の合計とする。

(4) 生活態度が良好であること。3カ年を通して、懲戒指導がないこと。

(4) 保護者の承認を得ていること。

(5) 学校が実施する必修模擬試験の受験状況が良好であること。

第4条 専門学校・各種学校及び就職についての推薦は、前条の4年制大学及び短期大学の基準を参考にして行う。

2. 大学等受験のため自宅学習期間以前に県外へ渡航する生徒の取り扱いに関する規程

(手続き)

第1条 大学等受験のため自宅学習期間以前に県外へ渡航する生徒は、県外旅行届に必要事項を記入して提出し、ホームルーム担任を通して学校長の許可を得るものとする。届は教務の保管とする。

(渡航の許可)

第2条 渡航の許可は、次の者について行う。

(1) 卒業認定可能と判断できる者。

(2) 校納金、諸会費の納付に問題のない者。

(出席の取り扱い)

第3条 受験のために必要な以下の日数は、出席停止・忌引等の扱いとする。

(1) (往復に要する日数) + (受験日数) + (受験校下見(1日)) とする。

(2) 連続して2校以上受験する場合は次の日数とする。

〔(1)の日数〕 + 〔移動に要する日数(1日)〕 + 〔受験日数〕 + 〔受験校下見(1日)〕

ただし、上記の日数に受験日の間隔等を考慮して算定する。

3. 進路に関する出席扱い規程

第1条 進路に関する生徒の対応において、出席扱いする事項を次のとおりとする。

(1) 健康診断を受けるための欠席

なるべく授業を優先する。

(2) 大学等への願書提出の場合

① 2時間の出席扱いとする

(3) オープンキャンパス又は大学説明会等への参加のための欠席。ただし以下の条件を満たす場合とする。

① 4年制大学・短期大学・専門学校等の内いずれか1校で、第1志望であること。

② 参加できる学年は2、3年生とし、各学年でそれぞれ1回ずつとする。

③ ア. 県内の場合は、その当日のみを出席扱いとする。

イ. 県外の場合は基本的に宿泊を伴うので、出席扱いされる日数は、次の通りとする。

〔往復に要する日数〕 + 〔オープンキャンパス当日〕

④ 県外への宿泊を伴うオープンキャンパス又は大学説明会等への参加については、原則として生徒の保護者の同伴で参加する。その際は、実施日の1ヶ月前までに、ホームルーム担任を通して、教務部に届け出て、校長の許可を得なければ ならない。

※但し、3年生においては、保護者の責任と許可のもと、引率なしで参加することができる。

学校推薦型選抜(旧：推薦)・総合型選抜(旧：A0)

2025（令和7）年度 学校推薦型・総合型選抜(学校長の推薦有り)の諸手続〆切一覧
推薦を希望する生徒へ

[必要書類] ①～③は全員必要。④は指定校および県内国公立を除く

①推薦受験願

②志望の動機

③担任副申書 *担任が作成する。

④志望校の推薦基準（募集要項のコピー） *指定校および県内国公立大学を除く

※『評定平均4.3以上』という条件だけではなく、『校内から何名以内』という情報がわかるページ、また、『学校で取りまとめて願書を出す』の文言がある場合は、そのページもコピーし提出。

1. 進路で申込み書類（三点セット＝①推薦受験願、②志望の動機、③担任副申書）を申請する。
2. 申請用紙（担任控え）と「③担任副申書」および「④志望校の推薦基準（募集要項のコピー）」を担任に提出する。
3. 「①推薦受験願」「②志望の動機」を担任に提出する。※提出期限はそれぞれ下記に記載

1). 指定校推薦大学

生徒→担任	担任→進路 (三点セット)	推薦委員会	進路へ願書提出	願書発送日
8/30(金) まで	9/2(月)まで	9/3(火)	出願開始日 2日前 まで	個人 出願 出願開始日

2). 県内私立大学・短期大学及び大学校（学校推薦型選抜）

大学名	生徒→担任	担任→進路 (三点セット)	推薦委員会	願書発送日
沖縄女子 短期大学	8/30(金) まで	9/2(月)まで	9/3(火)	個人 出願 ※10月下旬～11月上旬 <u>※鑑文を進路で受け取り 同封すること</u>
沖縄キリスト教 短期大学				
沖縄キリスト教 学院大学				
沖縄国際大学				
沖縄大学				
沖縄職業能力 開発大学校				

3). 琉球大学（学校推薦型選抜）

推薦種別	生徒→担任	担任→進路 (三点セット)	推薦委員会	願書発送日
共通テスト無 (Ⅰ期)	9/3(火) まで	9/5(木)まで	9/10(火)	進路 が発送 11月前半
共通テストあり (Ⅱ期)				

4). 県内公立大学（学校推薦型選抜）

大 学 名	生徒→担任	担任→進路 (三点セット)	推薦委員会	願書発送日
沖縄県立看護大学	8/30 (金) まで	9/2 (月)まで	9/3 (火)	個人 出願 11 月前半 <u>※鑑文を進路で受け取り 同封すること</u>
沖縄県立芸術大学				
名桜大学				

5). 県外国公立大学（共通テストを課す・課さない）学校推薦型選抜

出願開始時期	生徒→担任 ※推薦基準のコピーも提出	担任→進路 (三点セット)	推薦委員会	願書発送日
10月出願	8/30 (金) まで	9/2 (月)まで	9/3 (火)	個人 出願 ※推薦基準コピーを進路に提出 <u>※鑑文を進路で受け取り 同封すること</u>
11月出願	9/10 (火) まで	9/12 (木)まで	9/24 (火)	
12月出願	10/1 (火) まで	10/3 (木)まで	10/15 (火)	
1月出願	11/22 (金) まで	11/26 (火)まで	12/3 (火)	

※1 大学によって出願期間が異なるため、校内締め切りは、原則として出願日初日1ヶ月前後に設定する。

※2 各大学の募集要項や「推薦入学年鑑」を参考に、出願期間（消印有効・必着など含む）の確認を必ず行う。

6). 県外私立大学・短期大学の学校推薦型選抜

本校では、私立大学等で併願受験が可能な場合でも、**推薦入試は一人一回の受験**となっている。
 出願日程は、大学によって異なるため、原則として出願日初日の1ヶ月～3週間前までには校内申込みを済ませる。

総合型選抜を希望する生徒へ

7). 学校長の推薦書が**必要ない**総合型選抜（国公立・私立）→推薦委員会にかける必要がありません
 「総合型選抜出願届け」および募集要項のコピーを出願日初日の3週間前までに**進路へ提出**。出願の準備をしてください。

8). 学校長の推薦書が**必要な**総合型選抜（国公立・私立）

推薦と同じ手順を踏みます。左上の「**推薦を希望する生徒へ**」を参照！

出願日程は、大学によって異なるため、原則として出願日初日の**1ヶ月～3週間前までには校内申込みを済ませる。**※募集要項のコピーを進路へ提出。 推薦委員会は随時行う。

※総合型選抜が専願の場合、その合否が確定するまでは推薦委員会にかけられません。

絶対に守って欲しいこと・・・

1. 書類の提出期限厳守 !!

2. 保護者・担任の承諾 !!

※誰にも相談せず、自分勝手に学校推薦型選抜・総合型選抜を決めて書類提出する人がいます。
 受験は、担任(書類作成)・保護者(金銭面)の協力が必要です。必ず事前に相談を！